

注 文 書

- 1 工 事 番 号 2 0 2 5 0 0 1 2 3 9
- 2 工 事 名 令和 7 年度 市道大崎耳取線（安国寺橋）橋梁修繕工事
- 3 施 工 地 名 大崎市 古川地域 柏崎地内
- 4 工 事 期 限 令和 8 年 2 月 27 日
- 5 添 付 書 類
 (1) 特 記 仕 様 書
 (2) 参 考 明 細 書
 (3) 図 面
- 6 担 当 課 大崎市 建設部 建設課

特記仕様書

第1章 総則

1. 本工事はすべて設計図書、宮城県土木工事共通仕様書及び本特記仕様書、施工条件明示書に基づき施工し、また、工事箇所及び周辺にある地上・地下の既設構造物に対し支障を及ぼさないよう事前に占有又は所有者の立会いを行い、施工に万全を期するとともに損害を与えた場合は請負者の責任において処置しなければならない。

第2章 材料

1. 工事材料の規格並びに材質は設計図書に明記されたものとし、監督員の承諾を得るものとする。特に明記なきものについても、同様に監督員の承諾を得たものを使用するものとする。
2. 材料の検査においては、設計図書において明記されたものとするが、特に明記なきものも必要と思われるものについては、監督員と協議するものとする。
3. 材料に関する調査及び見本検査においても前項と同様とする。

第3章 施工

1. 施工に先立ち、施工計画書を監督員に提出し承諾を得るものとする。施工方法については、施工計画書を遵守するとともに現場条件に変化があった場合は、直ちに監督員と協議し施工計画書の変更を行うものとする。
2. 本工事において使用する建設機械は、排出ガス対策型の使用を原則とし、工事箇所において容易に確認できる書類を整備しておくこととする。

第4章 建設副産物処理

1. 本工事において発生する建設副産物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理するものとする。
2. 再資源化施設において受入れ能力等により搬入不可能となった場合には、建設副産物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき許可を得た処理施設に搬入処理するものとする。なお、この処理施設以外で自社最終処分場が所定の条件を満たしていると認められる場合は、設計変更の対象とする。ただし、この場合でも処分費は当初設計額における処分費を超えないものとする。
3. 自社最終処分場に処理する場合の処分費は、当該最終処分場までの運搬費と最終処分場における廃棄物処理費の合計とする。
4. 当該工事受注後は、速やかに施工計画書の中に再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書及び建設廃棄物処理計画書を作成し提出するものとする。
5. 建設廃棄物を処理したあとは、速やかに建設副産物処理結果報告書に処理状況を確認できる写真及び建設廃棄物処理に係るマニフェスト（積荷目録）を提出するものとする。

第5章 暴力団等の排除について

1. この契約の履行期間中に大崎市入札契約暴力団排除措置規則（平成25年6月1日施行。以下「排除規則」という。）の措置要件に該当すると認められたときは、契約を解除することがある。
2. 本市から指名停止の措置を受けている者にこの契約の全部又は一部を下請させ、若しくは受託させてはならない。また、この契約の下請若しくは受託をさせた者が、排除規則の措置要件に該当すると認められるときは、当該下請契約等の解除を求めることがある。
3. この契約の履行にあたり暴力団員又は暴力団関係者等（以下「暴力団員等」という。）から不当要求又は妨害を受けたときは、速やかに警察への通報を行い、捜査上必要な協力を行うとともに、発注者へ報告すること。また、この契約の下請負若しくは受託をさせた者が、暴力団員等から不当要求又は妨害を受けたときは、同様の措置を行うよう指導すること。
なお、暴力団員等から不当要求又は妨害を受け、適切に警察への通報、捜査協力及び発注者への報告が行われた場合で、これにより、履行遅延等が発生すると認められるときは、必要に応じて、工程の調整又は履行期限の延長等の措置を講じる。

第6章 その他

1. 本工事に着手するにあたり、必要であれば警察署及び消防署等に道路使用許可申請，通行止めの協議をし，緊急・一般車両・歩行者等の交通に支障のないよう努めること。
2. 本工事において境界杭を破損・紛失した場合は，請負社の責任において復元するものとする。
3. 本工事における下請負，資材調達は大崎市内の企業を活用することを原則とする。また，工事着手後に発注者が指定した主要資材については，工事完了時に主要資材市内調達調書を提出すること。
4. 本工事の実施にあたり，東北地方太平洋沖地震による被災者等の市内求職者の積極的な雇用に努めること。
5. 本工事は，週休2日工事【現場閉所型・~~交替制~~】の対象である。
6. 受注者は，対象期間の開始日から月ごとに，休日等の取得の実績が確認できる休日等取得実績書を作成し，発注者へ提出するものとする。
7. 当初積算時には4週8休以上(通期)を確保した場合の経費の補正を行っており，設計変更時に達成状況に応じた補正の見直しを行うこととする。また，工事着手前に受注者に対して「4週8休以上(月単位)」に取り組むか協議するものとする。
8. 本工事は熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行対象工事である。本運用による設計変更を希望する場合は，別途定める「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき，発注者に協議すること。

— 特 記 仕 様 書 —

令和7年4月1日以降公告案件から適用

施 工 条 件 明 示 書

工事番号	2025001239		工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋)橋梁修繕工事		事務所名	大崎市 建設部 建設課	
項 目			条 件		内 容		施 工 方 法	備 考
1 共通仕様書の適用			本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。					
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置								
(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例) ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」			○	契約工期初日以降、90日以内に着手 (手持ち工事が完了した場合や、制約条件がない場合等は、期日以前の着手も可能)				
(2) 請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事)			○	契約工期初日以降、○○日以内に着手 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。				
(3) 上記以外			●	請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約工期初日以降、30日以内に現場施工に着手				
			上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html					
3 専任特例の適用を受ける技術者の配置								
			建設業法第26条第3項ただし書の規程(以下「専任特例」という。)の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合は、下記によるものとする。 1 専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合、適用要件について以下の出納局契約課ホームページを参照すること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html 2 本工事は主任技術者又は監理技術者が専任特例の適用を受ける場合、落札候補者となった際に確認事項兼誓約書を提出すること。 3 本工事において、専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ(CORIINS)への登録を行うこと。					
4 積算基準及び設計単価の適用期日								
(1) 積算基準及び設計単価の適用について			●ある	○ない	積算基準及び設計単価は公告日の前月の基準及び単価としている。			
(2) 工事請負契約締結後における設計単価の変更			○ある	●ない	本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の設計変更を行うこととする。 なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の全ての設計単価とする。 ただし、災害に伴う応急仮工事など緊急を要す工事において、積算月と契約月が同月となる場合など、工事請負契約締結後における設計単価の変更が必要ないと判断される場合においては、適用「なし」を選択することも可能とし、その場合は下欄にその理由を記載する。			
			適用「なし」の理由					
5 工程関係								
(1) 関連工事による施工時期の調整			○ある	●ない				
(2) 施工時期による制限			○ある	●ない				
(3) 関係機関等との協議の未成立			●ある	○ない	・河川管理者への河川協議 ・所轄警察署への道路使用許可申請		受注者は、着手後速やかに現地調査を実施し、保安設置計画書を監督員に提出すること。	
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加			○ある	●ない				
6 公害対策関係								
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限			●ある	○ない	工事設計額の算出に際し、機械経費については、「低騒音型・低振動型建設機械」として指定された機種を使用している。		関係法令及び条例で定められた基準に従って実施すること。	
7 安全対策関係								
(1) 交通安全施設等の指定			○ある	●ない				
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限			○ある	●ない				
8 排水工関係								
(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性			○ある	●ない				
9 建設副産物対策関係(建設発生土)								
(1) 建設発生土の処理・処分について			本工事の残土は、下記に運搬するものとする。なお、下記により難い場合が生じたときは、監督職員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。					
			処理・処分する場所		処理・処分方法	距 離	制 限 時 間	備 考
			名称	所在地				
(2) 建設発生土	処理・処分	○ある	●ない					

10 建設副産物対策関係(建設発生土以外の建設副産物)									
(1) 建設発生土以外の建設副産物の処理・処分について			下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または循環型社会推進課のHPを参照)。						
			処理・処分する場所		処理・処分方法		距 離	制 限 時 間	
			工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。						
(2) 建設発生土以外の建設副産物	処理・処分	コンクリート塊	○ある	●ない				km	時 分 ～ 分
		アスファルト塊	○ある	●ない				km	時 分 ～ 分
		建設発生木材	○ある	●ない				km	時 分 ～ 分
		建設汚泥	○ある	●ない				km	時 分 ～ 分
		その他	○ある	●ない				km	時 分 ～ 分
(3) 再生材の利用			○ある	●ない	種類・数量				
11 現場環境改善			○ある	●ない	内容				
12 品質証明									
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認チェックリストの対象			○ある	●ない	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事。土木工事共通特記仕様書第3編1－1－9および品質証明実施要領によること。				
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象			○ある	●ない	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事。土木工事共通特記仕様書第3編1－1－9および品質証明実施要領によること。				
13 標準的な設計図書による発注方式			○ある	●ない	土木工事共通特記仕様書第3編1－1－14によること。				
14 資材関係									
(1) 生コンクリート			生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。						
(2) 購入土			購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。						
(3) 宮城県グリーン製品の利用 「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、請負者は循環型社会推進課HPより「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出(電子メール)すること。			必須		1. 植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。				
			○ある	●ない	2. 盛土材、埋め戻し材				
			○ある	●ない	3. その他()				
(4) 県内産製品の使用			○ある	●ない	本工事は、「県土木部発注工事における県内産製品優先使用の試行要領」の対象工事である。工事の施工にあたっては、試行要領に基づき適切に実施すること。 事業管理課ホームページ参照 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/kensanzai.html				
(5) 現場吹付法砕工			吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm2以上とする。						
15 設計変更の手続き									
(1) 設計変更の手続きについて			設計変更については、工事請負契約書第19条～第26条及び共通仕様書第1編1－1－14～1－1－16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン」(宮城県土木部)によることとする。						
			詳細については、以下のホームページ「設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】」を参考とすること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/henkou-guideline.html トップページ＞しごと・産業＞土木・建築・不動産＞建設業＞設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】						
16 その他									
(1) 舗装の下請制限について			○ある	●ない	土木工事共通特記仕様書第1編1－1－3によること。				
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象の有無			○ある	●ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。				
					請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。				
(3) 三者会議の対象の有無			○ある	●ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。土木工事共通特記仕様書第3編1－1－5によること。				
(4) 貸与資料の有無			●ある	○ない	本仕様書によるもののほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料(橋梁点検結果資料 及び 設計成果品「令和6年度 市道宿線外2路線(宿橋外2橋)橋梁修繕設計業務」)				
(5) 発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無			○ある	●ない	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。				
(6) 法定外の労災保険の付保について			本工事では、法定外の労災保険加入にかかる保険料を予定価格に反映しているため、本工事において受注者は法定外の労災保険に付きなければならない。なお、加入後受注者は、工事請負契約書第62条に基づき、証券又はこれに代わるものを直ちに発注者に提示すること。						
(7) 熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の有無			●ある	○ない	本工事は熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行対象工事である。本運用による設計変更を希望する場合は、別途定める「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき、発注者に協議すること。				

働き方改革・生産性向上に関する事項

項 目	条 件	内 容
17 総合評価落札方式における「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用の有無		
(1)「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用工事	○対象 ●対象外	1. 対象工事の場合、活用する技術については、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に基づき選択すること。 2. ICT施工・3次元化等の活用提案の適用の有無に係わらず、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に記載の技術は、施工計画・技術提案等(いわゆる作文)の評価対象外とする。〔簡易型(施工計画型)〕、「標準型」, 「高度型」の場合) なお、「ICT施工・3次元化等の活用提案」の対象外工事の場合も、同様の取扱いとする。
(2)実施された技術についての費用計上(設計変更)	○対象 ●対象外	設計変更の積算手法については、総合評価落札方式の手引きのとおりとする。なお、(1)が対象外の場合は、当該項目も対象外となる。
18 業務効率化		
(1)工事情報共有システムの活用	○対象 ●対象外	本工事は工事情報共有システムの活用対象工事であり、請負者は工事着手時に別途定める「工事情報共有システム事前協議チェックシート」により、必要事項について監督職員と協議を行うこと。実施にあたっては「土木工事における工事情報共有システムの実施要領」及び「土木工事における工事情報共有システムの活用ガイドライン」に基づき行うこと。
(2)工事書類の簡素化の試行について	○あり ●なし	本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。実施にあたっては「宮城県土木部における工事書類簡素化の試行要領」に基づき行うこと。
(3)ウィークリースタンス等の推進		本工事は、受発注者協力のもと、建設業の魅力創出を図ることを目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、「ウィークリースタンス等実施要領」に基づき、取組内容を受発注者間で協議及び共有し、工事を進めていくこととする。 詳細については、宮城県土木部事業管理課のホームページを参照すること。(http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/weekly.html)
19 週休2日工事の適用の有無		
(1)週休2日工事	●対象 ○実施困難工事	1. 週休2日対象工事の場合は、宮城県土木部「週休2日工事」実施要領に基づき、行うこととする。 なお、週休2日工事の種別及び区分については、下記(2)、(3)のとおりとする。 2. 改正労働基準法(平成30年6月成立)による罰則付きの時間外労働規制が建設業に適用されたことを踏まえ、週休2日の確保を目指し、「週休2日工事」での発注を原則とする。ただし、応急復旧工事など緊急工事の場合は、例外的に週休2日対象工事としないことも可能とする。その場合は「実施困難工事」として、下欄にその理由を記載する。
(2)週休2日工事の種別	☒ 現場閉所型 ☐ 交替制	現場閉所型:巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて、1日を通して現場や現場事務所を閉所する。 交 替 制 :現場閉所を行うことが困難な工事について、技術者及び技能労働者が交替しながら休日確保の取組を行う。
(3)週休2日工事の区分		週休2日工事の区分は「通期の週休2日」と「月単位の週休2日」に区分する。 当初発注においては「通期の週休2日」を指定、積算している。 「月単位の週休2日」は受注者の希望型とし、工事着手前に受発注者間で協議の上、実施の可否を決定する。なお、協議により「月単位の週休2日」を実施することとし、「月単位の週休2日」を達成した場合は、精算変更時に「月単位の週休2日」の補正係数に変更する。 〔「通期の週休2日」:対象期間全体で、4週8休相当以上の休日を取得したと認められる状態。 「月単位の週休2日」:対象期間の全ての月において、4週8休以上の休日を取得したと認められる状態。〕
20 女性活躍推進モデル工事の適用の有無		
(1)女性活躍推進モデル工事	○対象 ●対象外	実施に当たっては、宮城県土木部「女性活躍推進モデル工事」実施要領に基づき行うものとする。 実施要領は、宮城県ホームページ(https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/)で確認のこと。
21 下請承認事務簡素化モデル工事の適用の有無		
(1)下請承認事務簡素化モデル工事	○対象 ●対象外	実施に当たっては、発注者から工事打合せ簿により、「下請承認事務簡素化モデル工事」である旨を別途指示するものとする。

東日本大震災に伴う特例制度

項 目	条 件	内 容	施 行 方 法	備 考
22 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用				
(1) 労働者確保に関する積算方法の試行工事	○ある	●ない	1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。 営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用 2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。 1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: 9.19% 2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: 1.24% 3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。 4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。 5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。 6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。 7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。	
(2) 労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事	○ある	●ない	本工事は、「労働者宿舍設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。 労働者宿舍の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。	
23 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更				
(1) 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	○ある	●ない	下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。 また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。 購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(山砂、砕石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。 受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。 1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等) 2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」) 3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由 4 製造・生産工場を選定した理由 5 見積り書 6 その他、必要と思われる事項	
24 施工箇所が点在する工事の間接費の積算				
(1) 施工箇所が点在する工事積算方法の試行の対象工事	○ある	●ない	本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「鹿島台地区(施工箇所:小川橋)、田尻地区(施工箇所:下高野東橋、小塩橋)(以下、対象地区という)」ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法の試行」の対象工事である。 本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。	
25 その他				
(1) 土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱い	○ある	●ない	・本工事の施工において、調達(購入)する予定の〇〇の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。 ただし、契約後、施工計画に基づき、〇〇の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。	
(2) 東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について	●ある	○ない	間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算と乖離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。 補正係数 共通仮設費:1.3 現場管理費:1.1	

特記事項

1 基本事項			
(1) 設計図書と現地調査の相違点について	着手前調査において、本設計図書との相違点が確認された場合は、直ちに監督職員に報告するとともに、対応を検討し書面で協議すること。		
(2) 提出書類について	工事打合簿や段階確認書等の提出書類については、遅滞なく監督職員に提出し、承諾後次の施工に移行すること。なお、履行報告書には、各工種の進捗率が分かるように整理することとし、施工写真を必ず添付すること。		
(3) 週間工程表について	施工に際し、2週間工程表を前週中に提出すること。提出方法については電子メールとする。		
(4) 苦情等の対応について	施工に際して、利用者及び地域住民に迷惑のかかることのないように十分注意しておこなうこと。また、本工事において、疑義や一般の方から苦情があった場合は、速やかに監督職員に報告し、協議または打ち合わせをおこなうこと。	お知らせ等の配布を行うこと。	
(5) 工事実績情報システム(コリンズ)	請負者は、工事請負額が500万円以上の工事について、工事実績サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し登録申請を行うこと。		
2 安全管理への配慮			
(1) 安全訓練等の実施	当該現場に即した安全訓練を下請け業者も含め、作業者全員の参加で行うこと。	諸法令の熟知に努め、現場状況を考慮した安全管理及び規制情報の周知徹底を図ること。	
(2) 工事現場の管理	安全管理において諸法令を遵守し、適切な安全施設等を配置することで事故防止に努めること。		
3 一般施工			
(1) 橋梁塗装について	橋梁塗装工は、「鋼道路橋防食便覧」(社)日本道路協会に基づき実施するものとする。 橋梁塗装工の仕様はRc-Ⅰ塗装系(スプレー)とし、塗装仕上り色は、淡彩で計上している。塗装色については、施工前に監督職員の承諾を得ること。		
(2) 素地調整について	本橋は、設計業務における塗装成分分析の結果、現況塗装に有害物質(鉛及びPCB)が含まれていることが判明しており、健康被害及び周辺環境の汚染を防止するため、塗膜除去作業に伴う粉じん発生の抑制や作業場外への漏洩に留意しなければならない。 対策として、塗膜除去工には、1種ケレン(循環式ブラスト工法)の使用を想定している。なお、実施方法に変更が生じる場合は、監督職員と協議の上、必要に応じて設計変更の対象とする。		
(3) 安全衛生保護具について	有害物含有塗膜除去時に使用する安全衛生保護具等は、施工量に応じた必要量を安全費として計上している。		
(4) 塗膜除去に係る現場発生材等の処分について	塗膜除去に伴う現場発生品(ケレン塵材、PCB・鉛対応安全保護具等)の処分については、特別管理産業廃棄物として、発注者が手配した運搬・処分業者が行うものとする。 本工事の受注者は、処分を行うまでの間、現場内で適地を選定し、現場発生品を適切に保管すること。また、そのために必要な費用が発生する場合には、監督職員と協議の上、必要に応じて設計変更の対象とする。		
(5) 橋梁添架物について	施工時に既設添架物の防護が必要と判断される場合には、関係資料を整理し、事前に監督職員と協議すること。		
4 その他			
(1) 橋梁台帳の提出	この特記仕様書に定めるもののほか疑義が生じた事項については、その都度受注者と監督職員とが協議して定めるものとする。		

【参考資料】

※本工事工種は「鋼橋架設工事」である。

※施工地域補正「一般交通影響あり（２）－２」である。

※復興係数補正「あり」である。

※熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の有無「あり」である。

※交通誘導警備員の配置人数について

工事期間中の交通管理に要する「交通誘導警備員」の数量については、交通誘導警備員が必要と想定される主な工種の「作業日当り標準作業量」から算定した作業日数を用いている。

○当該工事区間における配置人数

- ・工事区間の 起終点 に 交通誘導警備員 B を配置する。
- ・参考配置人数：10人
- ・昼夜別：昼
- ・交代要員の有無：無し

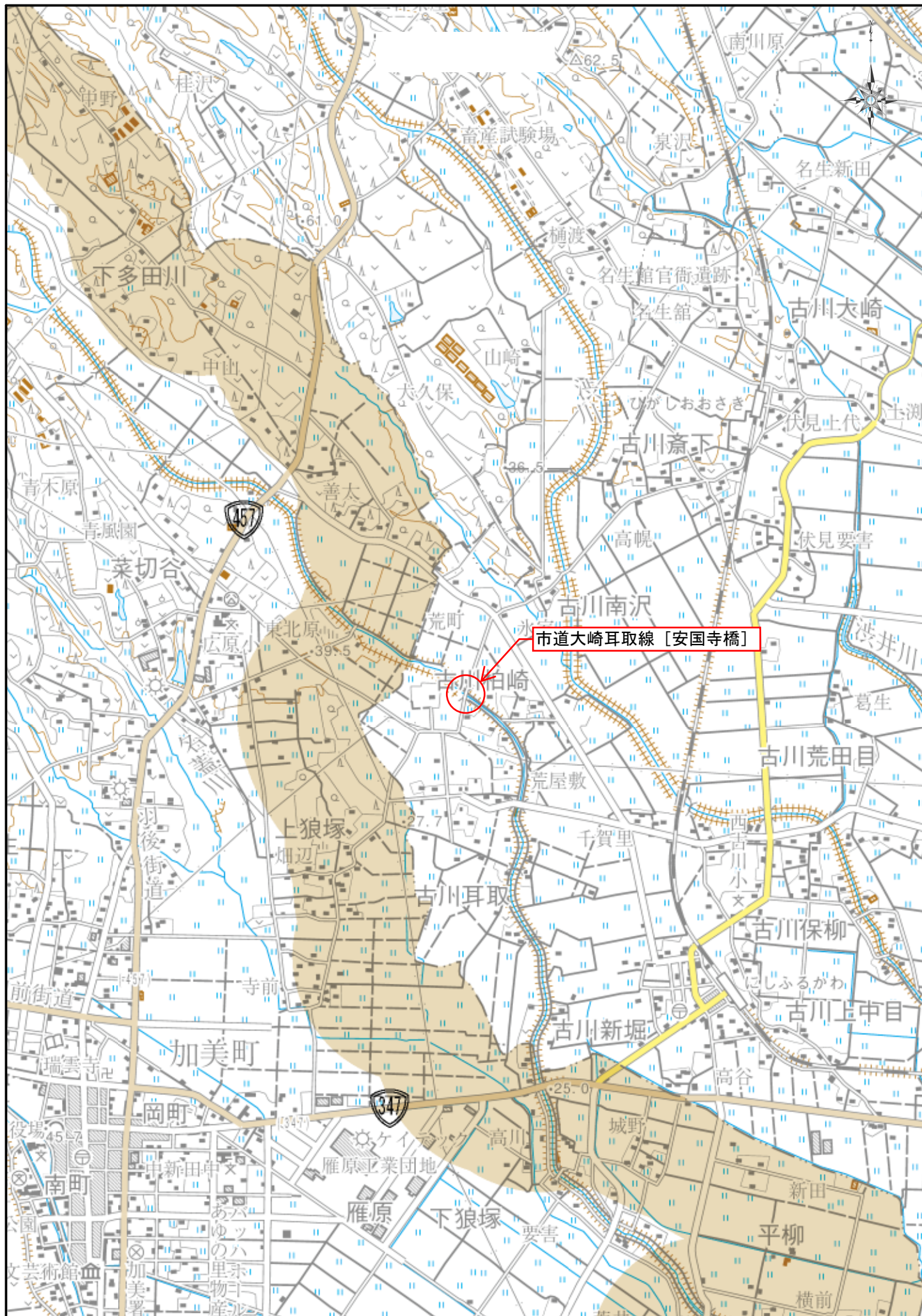
追記

- 1) 所轄警察署との交通協議により、交通誘導警備員の配置変更等があった場合には、別途協議の上設計変更することができる。
- 2) 施工数量に変更が生じた場合にいて、これと連動する交通誘導員の計上日数に変更となるときは、別途協議のうえ設計変更することができる。
- 3) 交通誘導警備員の定義は次のとおり
交通誘導警備員 A：警備業者の警備員で、交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員

交通誘導警備員 B：警備業者の警備員で、交通誘導警備員 A 以外の誘導警備員
(大崎市では、過去 3 年以内に建設業協会等が主催した建設工事の事故防止のための安全講習会受講者も認める)

別 紙

[illegible]



設計内訳書（安国寺橋）

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋) 橋梁修繕工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁保全工事							
		式	1				
現場塗装工							
		式	1				
橋梁塗装工 (塗替塗装工) 塗装仕様:Rc-Ⅰ 塗装系							
		式	1				
素地調整	素地調整種別:1種ケレン(プラスチック処理), 循環式プラスチック工法, 廃材の回収・積込を含む						単 1号 見積単価
		m2	340				
下塗 防食下地	塗装種別:有機ソノクラッチベント(1層) スプレー, 塗装箇所:主桁, 横桁ほか, 塗装回数:1回						単 2号
		m2	340				
下塗	塗装種別:弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)スプレー, 塗装箇所:主桁, 横桁ほか, 塗装回数:1回						単 3号
		m2	340				
中塗	塗装種別:弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 淡彩, 塗装箇所:主桁, 横桁ほか, 塗装回数:1回						単 4号
		m2	340				
上塗	塗装種別:弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー 淡彩, 塗装箇所:主桁, 横桁ほか, 塗装回数:1回						単 5号
		m2	340				
仮設工							
		式	1				
橋梁補修用足場工							
		式	1				
吊足場	吊足場タイプ:A1, B, 各養生シートを含む, 供用月数:0.8月						単 6号
		m2	160				
プラスチック養生シート工	全損						単 7号
		m2	160				
交通管理工							
		式	1				

設計内訳書（安国寺橋）

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋) 橋梁修繕工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
交通誘導警備員	種別:B						単 8号
直接工事費		人日					
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
安全費		式	1				
環境対策資機材費	鉛・PCB対応	式	1				内 1号 見積単価
安全衛生保護具費	鉛・PCB対応	式	1				内 2号 見積単価
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				

設計内訳書（安国寺橋）

[illegible]

一式当り内訳書

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 1号	環境対策資機材費	鉛・PCB対応					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
環境対策資機材 鉛・PCB対応		式	1				
合計							

一式当り内訳書

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

内 2号	安全衛生保護具費	鉛・PCB対応					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
安全衛生保護具 鉛・PCB対応		式	1				
合計							

1 次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 1号	素地調整	素地調整種別:1種ケレン(プラスチック処理), 循環式プラスチック工法, 廃材の回収・積込を含む	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
素地調整(1種ケレン) 循環式プラスチック工法相当品			m2	1			単 9号 見積単価 単価補正:1. 250	
研削材 及び ケレンかす回収・積込工			m2	1			単 10号 見積単価	
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 2号	下塗	塗装種別:有機ゾンクリッチェント(1層) スプレー, 塗装箇所:主桁, 横桁ほか, 塗装回数:1回	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		下塗り, 無し, 無し, 無し, 有機ゾンクリッチェント(1層)スプレー	m2	1			単 11号	
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 3号	下塗	塗装種別:弱溶剤形変性ポキシ樹脂塗料(2層)スプレー, 塗装箇所:主桁, 横桁ほか, 塗装回数:1回	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		下塗り, 無し, 無し, 無し, 弱溶剤形変性ポキシ(2層)スプレー	m2	1			単 12号	
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 4号	中塗	塗装種別:弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 淡彩, 塗装箇所:主桁, 横桁ほか, 塗装回数:1回	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		中塗り, 無し, 無し, 無し, 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー, 淡彩	m2	1			単 13号	
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 5号	上塗	塗装種別:弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー 淡彩, 塗装箇所:主桁, 横桁ほか, 塗装回数:1回	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		上塗り, 無し, 無し, 無し, 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー, 淡彩					単 14号	
			m2	1				
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 6号	吊足場	吊足場タイプ:A1, B, 各養生シートを含む, 供用月数:0. 8月	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
吊足場 タイプ A1								
			m2	1				
床面シート張防護								
			m2	1				
吊足場 タイプ B 朝顔								
			m2	1				
吊足場 タイプ B 板張防護								
			m2	1				
吊足場 タイプ B シート張防護								
			m2	1				
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 7号	ﾌﾟﾗｽﾄ用養生ｼｰﾄ工	全損	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ﾌﾟﾗｽﾄ用養生ｼｰﾄ工			m2	1				
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 8号	交通誘導警備員	種別:B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人日				単 15号	
合計								
単価							円／人日	

2 次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 9号	素地調整(1種ケレン) 循環式ブラスト工法相当品		単位	m2	単位数量	1, 000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう世話役								
			人					
橋りょう塗装工								
			人					
循環式ブラストマシン賃料 2ノズルタイプ								
			日					
ブラストノズル・ブラストホース賃料								
			日					
循環式ブラストマシン整備料 低濃度PCB・鉛特別整備費								
			日					
空気圧縮機損料 吐出量19. 4m3/min 可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(排対2次)								
			日					
発動発電機 100/125kVA ディーゼルエンジン駆動(排対2次)								
			日					
トラック(普通型) 4〜4. 5t積								
			日					
研削材賃料 スチールクォリット								
			m2	1, 000				
軽油								
			L	4, 233. 6				
諸雑費							労務費の5%	
			式	1				
合計								

2 次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 9号	素地調整(1種ケレン) 循環式ブラスト工法相当品		単位	m2	単位数量	1, 000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	単価						円／m2	

2 次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 10号	研削材 及び クレンかす回収・積込工		単位	m2	単位数量	1, 000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう塗装工								
			人					
トラック[クレン装置付] ベーストラック4～4. 5t積 吊能力2. 9t		機械条件: 供用 持込						機損表
			供用日					
諸雑費								労務費の40%
			式	1				
合計								
単価								円／m2

2次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 11号	塗替塗装	下塗り,無し,無し,無し,有機シソクリツ チペイント(1層)スプレー	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 塗替塗装 下塗り 昼 無 有機シソクリツ(1層) スプレー			m2	100				
諸雑費(まるめ)			式	1				
合計								
単価							円/m2	

2次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	塗替塗装	下塗り,無し,無し,無し,弱溶剤形変 性ポキシ(2層)スプレー	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 塗替塗装 下塗り 昼 無 弱溶剤形変性ポキシ(2層) スプレー			m2	100				
諸雑費(まるめ)			式	1				
合計								
単価							円/m2	

2 次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 13号	塗替塗装	中塗り,無し,無し,無し,弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー,淡彩	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 塗替塗装 中塗り 昼 無弱溶剤形ふっ素用スプレー淡彩			m2	100				
諸雑費(まるめ)			式	1				
合計								
単価							円／m2	

2 次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 14号	塗替塗装	上塗り,無し,無し,無し,弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー,淡彩	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 塗替塗装 上塗り 昼 無弱溶剤形ふっ素スプレー淡彩			m2	100				
諸雑費(まるめ)			式	1				
合計								
単価							円／m2	

2 次単価表

単価使用年月	2025. 08
歩掛適用年月	2025. 08
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 15号	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B								
			人					
諸雑費(まるめ)								
			式	1				
合計								
単価							円／人日	

【参考資料】 積算入力データリスト（安国寺橋）

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋)橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
橋梁保全工事 (0001)	式	1			
現場塗装工 (0002)	式	1			
橋梁塗装工 (0003)(塗替塗装工) 塗装仕様:Rc-Ⅰ塗装系	式	1			
素地調整 (0004)	m2	340			オプション入力 第0001号単価表 単位数量 1 m2 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 4週8休以上(通期)
素地調整(1種ケレン) 循環式ブラスト工法相当品	m2	1			オプション入力 単位数量 1,000 m2 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
橋りょう世話役	人	14.7			R0124
諸雑費1:対象					管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（安国寺橋）

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋)橋梁修繕工事				事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要	
					単価補正	1.250
橋りょう塗装工	人	117.6			R0123 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0	
諸雑費1：対象					単価補正	1.250
循環式プラストマシン賃料 2ノズルタイプ	日	14.7			ZK99*01*01001 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0	
					単価補正	1.250
プラストノズル・プラストホース賃料	日	14.7			ZK99*01*01002 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0	
					単価補正	1.250
循環式プラストマシン整備料 低濃度PCB・鉛特別整備費	日	14.7			ZK99*01*01003 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0	

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（安国寺橋）

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋)橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
					単価補正 1.250
空気圧縮機損料 吐出量19.4m3/min 可搬式・エンジン駆動・スクェ型(排対2次)	日	14.7			ZK99*01*01004 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0
					単価補正 1.250
発動発電機 100/125kVA ディーゼルエンジン駆動(排対2次)	日	14.7			ZK99*01*01005 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0
					単価補正 1.250
トラック(普通型) 4～4.5t積	日	29.4			ZK99*01*01006 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0
					単価補正 1.250
研削材賃料 スチールケリット	m2	1,000			ZZ99*01*01001 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0

【参考資料】積算入力データリスト（安国寺橋）

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋)橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
軽油	L	4,233.6			単価補正 1.250 Z006702002 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
諸雑費	式	1			単価補正 1.250 ZS7000001 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
諸雑費1 諸雑費率＝5.000%					単価補正 オプション入力 単位数量 1,000 m2 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
研削材 及び クレカす回収・積込工	m2	1			単価補正 R0123 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
橋りょう塗装工	人	58.8			諸雑費1：対象 単価補正 R0123 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0

【参考資料】積算入力データリスト（安国寺橋）

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋)橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
					単価補正
トラック[クレーン装置付] ベーストラック4～4.5t積 吊能力2.9t	供用日	14.7			M000302013 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
K01 機械使用条件		供用 持込			
K02 岩石割増		岩石工の割増対象にしない			
K04 供用日当り運転時間		標準			
K06 交替制割増		無し			
K07 異常補正		補正無し			
K09 基礎価格補正		補正対象外			単価補正
K10 北海道・沖縄輸送補正		補正無し			
諸雑費	式	1			ZS7000001 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
諸雑費1 諸雑费率＝40.000%					
					単価補正
下塗 (0005)防食下地	m2	340			第0002号単価表 単位数量 1 m2 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
Q01 塗装種別		有機ゾンクッチペイント(1層) スプレー			
Q02 塗装箇所		主桁, 横桁ほか			
Q03 塗装回数		1回			
Q04 下塗費		塗替塗装			
					週休2日補正 4週8休以上(通期)
塗替塗装	m2	1			WB821550 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
J01 作業区分		下塗り			
J02 構造物別の補正係数		無し			
J03 時間的制約の有無		無し			
J04 夜間作業の有無		無し			

【参考資料】積算入力データリスト（安国寺橋）

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋)橋梁修繕工事				事業区分	道路維持・修繕	
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格		単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要	
J05 素地調整区分または塗料区分			有機溶剤クリッチペイント(1層)スプレー			単価補正	
下塗 (0006)		m2	340			第0003号単価表 単位数量 1 m2 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0	
	Q01 塗装種別		弱溶剤形変性ポキシ樹脂塗料(2層)スプレー			歩 2025.08 単 2025.08	
	Q02 塗装箇所		主桁, 横桁ほか			単価地区 大崎市(旧古川市)	
	Q03 塗装回数		1回			労調係数 1.000 00-00 0	
	Q04 下塗費		塗替塗装			週休2日補正 4週8休以上(通期)	
塗替塗装		m2	1			WB821550 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0	
	J01 作業区分		下塗り			歩 2025.08 単 2025.08	
	J02 構造物別の補正係数		無し			単価地区 大崎市(旧古川市)	
	J03 時間的制約の有無		無し			労調係数 1.000 00-00 0	
	J04 夜間作業の有無		無し				
	J05 素地調整区分または塗料区分		弱溶剤形変性ポキシ(2層)スプレー			単価補正	
中塗 (0007)		m2	340			第0004号単価表 単位数量 1 m2 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0	
	Q01 塗装区分		塗替塗装			歩 2025.08 単 2025.08	
	Q02 塗装種別		弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 淡彩			単価地区 大崎市(旧古川市)	
	Q03 塗装箇所		主桁, 横桁ほか			労調係数 1.000 00-00 0	
	Q04 塗装回数		1回				
	Q05 中塗費		塗替塗装			週休2日補正 4週8休以上(通期)	
塗替塗装		m2	1			WB821550 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市(旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0	
	J01 作業区分		中塗り			歩 2025.08 単 2025.08	
	J02 構造物別の補正係数		無し			単価地区 大崎市(旧古川市)	
	J03 時間的制約の有無		無し			労調係数 1.000 00-00 0	

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（安国寺橋）

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋)橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
		J04 夜間作業の有無 J05 素地調整区分または塗料区分 J07 色彩	無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 スプレー 淡彩		単価補正
上塗 (0008)	m2	340			第0005号単価表 単位数量 1 m2 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
		Q01 塗装区分 Q02 塗装種別 Q03 塗装箇所 Q04 塗装回数 Q05 上塗費	塗替塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー 淡彩 主桁, 横桁ほか 1回 塗替塗装		週休2日補正 4週8休以上(通期)
塗替塗装	m2	1			WB821550 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
		J01 作業区分 J02 構造物別の補正係数 J03 時間的制約の有無 J04 夜間作業の有無 J05 素地調整区分または塗料区分 J07 色彩	上塗り 無し 無し 無し 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 スプレー 淡彩		単価補正
仮設工 (0009)	式	1			
橋梁補修用足場工 (0010)	式	1			オプション入力
吊足場 (0011)	m2	160			オプション入力 第0006号単価表 単位数量 1 m2 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】 積算入力データリスト (安国寺橋)

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋)橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
					週休2日補正 4週8休以上(通期)
吊足場 タイプ A1	m2	1			ZK99*01*01007 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市 (旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
床面シート張防護	m2	1			ZK99*01*01008 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市 (旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
吊足場 タイプ B 朝顔	m2	1			ZK99*01*01009 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市 (旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
吊足場 タイプ B 板張防護	m2	1			ZK99*01*01010 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市 (旧古川市) 労調係数 1.000 00-00 0

【参考資料】積算入力データリスト（安国寺橋）

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋)橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
					単価補正
吊足場 タイプB シート張防護	m2	1			ZK99*01*01011 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
					単価補正
プラスチック用養生シート工 (0012)	m2	160			オプション入力 第0007号単価表 単位数量 1 m2 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
					週休2日補正 4週8休以上(通期)
プラスチック用養生シート工	m2	1			ZK99*01*01012 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0
					単価補正
交通管理工 (0013)	式	1			
交通誘導警備員 (0014)	人日				第0008号単価表 単位数量 1 人日

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】積算入力データリスト（安国寺橋）

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋)橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
Q01 交通誘導警備員費		交通誘導警備員B			管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 4週8休以上(通期)
交通誘導警備員B	人日				WB010212 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
直接工事費 (0015)	式	1			
共通仮設 (0016)	式	1			
共通仮設費 (0017)	式	1			
安全費 (0018)	式	1			
環境対策資機材費 (0019)	式	1			オプション入力 第0001号内訳書 単位数量 1 式 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市）

【参考資料】積算入力データリスト（安国寺橋）

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋)橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
					労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 4週8休以上(通期)
環境対策資機材 鉛・PCB対応	式	1			ZK99*01*01013 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
安全衛生保護具費 (0020)	式	1			オプション入力 第0002号内訳書 単位数量 1 式 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 週休2日補正 4週8休以上(通期)
安全衛生保護具 鉛・PCB対応	式	1			ZZ99*01*01002 管理費区分 0 歩 2025.08 単 2025.08 単価地区 大崎市（旧古川市） 労調係数 1.000 00-00 0 単価補正
共通仮設費（率計上） (0021)	式	1			
主たる工種		08:鋼橋架設工事			

【参考資料】積算入力データリスト（安国寺橋）

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋)橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
施工地域等補正	一般交通影響有り（２）－２	1.2			
除雪工事補正	未使用	1.00			
ICT施工補正	補正なし	1.0			
週休２日補正	４週８休以上(通期)	1.02			
復興係数補正	あり	1.3			
実績変更対象費（積上げ）	円				
純工事費 (0022)	式	1			
現場管理費 (0023)	式	1			
施工地域等補正	一般交通影響有り（２）－２	1.1			
工期日数（熱中症補正）	０日間				
真夏日日数	０日間				
補正係数	補正なし	0.00			
熱中症補正	自動設定	0.00%			
工期日数	０日間				
冬期日数	０日間				
積雪寒冷地区分	補正なし	0.00%			
施工時期補正	自動設定	0.00%			
緊急工事補正	補正なし	0.00%			
砂防・地滑り補正	補正なし	0.00%			
ICT施工補正	補正なし	1.0			
週休２日補正	４週８休以上(通期)	1.03			
復興係数補正	あり	1.1			
実績変更対象費（積上げ）	円				
工事原価 (0024)	式	1			
一般管理費等 (0025)	式	1			
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00			
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00			

※入力条件は、積算の考え方を示したものであり、指定事項ではありません。

【参考資料】 積算入力データリスト（安国寺橋）

工事名	令和7年度 市道大崎耳取線(安国寺橋)橋梁修繕工事			事業区分	道路維持・修繕
工事区分・工種・種別・細別・施工歩掛・規格	単位	数量・構成比 前回／今回 入力条件	単価 前回／今回	金額 前回／今回	摘要
契約保証に係る補正率	金銭的保証		0.04%		
工事価格 (0026)	式	1			
消費税額及び地方消費税額 (0027)	式	1			
工事費計 (0028)	式	1			